

解答例

チャレンジシート② きほん

学習日 年 月

単元	年組番	問
五年 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう 「明日をつくるわたしたち」	氏名	

1 教科書108ページの、中川さんたちの提案書を読んで答えましょう。

- (1) 中川さんたちが「ちいきとのつながりを強くしよう」ということを提案するきっかけとなった問題点があります。どれはどんなことでしょうか。

あいさつ運動に取り組んでいるが、一人一人がちいきの方と親しくしているとはいえないこと。
ちいきには、大人と子どもの両方が参加できる行事が少なく、顔見知りになる機会がないこと。

- (2) この提案書には、中川さんたちが考えた提案が二つ書かれています。その、二つの提案を書きましょう。

- | |
|--|
| ① 小学校で行われる防災訓練に、ちいきの方にも来ていただき、いっしょに訓練を行うこと。 |
| ② わたしたちも、ちいきで行われている防災訓練に参加して、何かが起きたときにどう対応するかを、ちいきの方といっしょに考えること。 |

- (3) 提案したことが実現するとどんな効果があるのかを示す、「提案の効果」を2枚目に書きます。「提案の効果」として、ふさわしい記述は、次のうちどれでしょう。ア～ウの中から選びましょう。

ア この提案を実行すれば、突然地震や火災が来たとき、あわてずに行動し、命を守ることができるようになるだろう。

イ この提案を実行すれば、防災訓練を通して、絆を深めることができ、名前呼び合ったり、気軽に声を掛け合ったりすることができるようになるだろう。

ウ この提案を実行すれば、これから学校開放日や運動会などに来る地域の方が増え、より活気のある学校になるだろう。

答え

イ

五年 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書く 「明日をつくるわたしたち」	単 元
	氏 名
	年 組
	番 号
問	

1 次の取材メモを使って、「ア 提案」「イ 提案の効果」を書き、提案書を完成させましょう。

☆取材メモ ○提案のきっかけ

学校内でのけが多い

ろう下を走り回る子どもが多い

○提案

ろう下を歩く宣言シールを作り、配る

ろう下に、はち植えを置く

○提案の効果

宣言シールを貼る→
・ろう下を歩く意識が高くなる
・宣言をしたことで、友達に声をかけやすくなる

はち植えを置く→
・心がいやされる
・けががへる

学校での過ごし方を考えよう

よりよい学校生活にするために、わたしたちができることとして、「ろう下通行の仕方」について具体的な案を提案する。

1. 提案のきっかけ

わたしたちの学校の子どもたちは、休み時間に、毎日外で遊んでいる。しかし、ろう下を走って運動場に行っている。遊びたい気持ちが強いあまりに、走ってしまっているのだろう。また、そのためにろう下でけがをしてしまう子どもも多い。

けがをなくし、安全な学校生活を送るために、ろう下通行の仕方を決めることは大切なことだと考える。この考えにそって、次のことを提案する。

2. 提案

計画委員会を中心に、ろう下を歩く宣言シールを作り、「ろう下を歩く」と約束した子どもに、シールを配って、名札に貼ってもらってはどうか。

また、学校にはきれいな花の植木ばちがある。そこで、それを利用して、ろう下にはち植えを置き、走れない環境を作るのはどうか。

3. 提案の効果

宣言シールを貼ることで、一人一人のろう下を歩こうとする意識が高くなり、ろう下を走ろうとする子どもがなくなると考える。また、ろう下の真ん中にはち植えを置くことで、心がいやされ、ゆっくりと歩くことができるようになる。そして、けががへっていくと考える。